

東淀川区医師会

平成26年度

循環器疾患対策セミナーのご案内

高血圧症は循環器の疾患の重要なリスク因子の一つでサイレントキラー（静かなる殺し屋）と呼ばれています。脳卒中の危険を高めないように、また心臓や腎臓の障害を進行させないためにはしっかりと目標の血圧に下げることがあります。

血圧の測定は、通常は医療機関の外来や検診時に行われ、昼前後に行われることが多いですが、実際は早朝の血圧が交感神経の作用で高くなることが多く、この早朝の高血圧症が特に脳卒中や心筋梗塞との関連が深いといわれています。

さて、早朝の血圧を知るためには自宅での血圧測定が大切になってきます。今回の健康教室では高血圧症の治療の大切さ、家庭血圧測定の大切さと正しい家庭血圧の測り方を説明するとともに、実際に数種類の血圧計で血圧を測定して頂き（デモ機を用意します）参加された皆様の今後の治療の参考にして頂きたいと思います。奮ってご参加下さい。

記

日時 平成26年4月9日(水) 午後2時～

会場 東淀川区医師会館 3階講堂 (東淀川区豊新2-3-7)

演題 『高血圧症の治療が必要なわけ
(家庭血圧の大切さについて)』

東淀川区医師会 理事

井上内科 院長

原 宏子 先生

対象者 東淀川区民 (先着40名)

参加ご希望の方は 事前に
東淀川区医師会まで
お電話にてお申し込み下さい。

☎ 6320-2226



主催：東淀川区医師会

